

第13回 微粒化セミナー

主催：日本エネルギー学会（幹事団体）、日本液体微粒化学会

協賛：応用物理学会、化学工学会、自動車技術会、石油学会、石油技術協会、日本ガスタービン学会、日本機械学会、（予定）日本原子力学会、日本工業炉協会、日本マリンエンジニアリング学会、日本燃焼学会、日本バーナ研究会

液体の微粒化は液体燃料の燃焼などのエネルギー関連技術だけでなく、噴霧塗装、噴霧乾燥、調湿、粉末製造、農薬散布、消火、静電気防止、環境改善などの各種産業分野にも応用されています。特に、近年では環境問題への配慮から、各種環境機器の洗浄や焼却炉の温度制御、脱硫や脱硝技術などへの応用があり、微粒化特性を高度に制御した機器の開発が要求されるようになってきました。これに伴って微粒化特性を測定するための高価なレーザ計測機器等が多数市販されております。しかしながら、測定データの解釈や評価については、ある程度の経験的知識が必要なのが現状です。

このような背景を踏まえ、本セミナーはさまざまな微粒化問題に関与している技術者や研究者を対象に、微粒化の基礎から微粒化の実験・計測手法、測定データの評価法までを系統立てて解説するとともに、実際の計測機器や各種の微粒化ノズルを会場に持ち込んで体験実習を行います。さらに、今回のセミナーでは、微粒化分野における最新技術に関するトピック紹介も予定しております。プログラムは日本エネルギー学会ホームページ（イベント案内：http://www.jie.or.jp/annnai_syusai.htm）でも確認できます。

なお、微粒化セミナー参加者には「修了証」が発行されます。

●日時：2017年12月1日（金）9：30～17：10（17：10～技術懇談会）（予定）

●会場：全国家電会館1階会議室（〒113-0034 東京都文京区湯島3-6-1, TEL：03-3832-4291）

アクセス → <http://jeass.or.jp/pages/giacomo.html>

◆参加申込要領◆

(1) 申込締切：2017年11月24日（金）（但し、定員40名に達し次第、締切ります）

(2) 参加費：主催および協賛団体会員 /20,000円 学生 /5,000円 非会員 /30,000円（聴講料・テキスト代を含む）

(3) 申込方法：学会HPより必要事項をオンライン登録して下さい。

http://www.jie.or.jp/2017/events/171201biryuka_seminar.htm

オンライン登録が不可の場合は、下記へお問い合わせください。

(4) 問合せ先：〒101-0021 千代田区外神田6-16-9 外神田千代田ビル4F

（一社）日本エネルギー学会「講演会」係

E-mail：jie-events1921@jie.or.jp, TEL：03-3834-6456, FAX：03-3834-6458

(5) 支払方法：3日前までに下記にお振り込み下さい。当日の現金払いも可能です。

銀行振込の場合は、下記までお願い致します。

・ゆうちょ銀行振替口座 00170-9-55504

・銀行振込 三菱東京UFJ銀行 神田駅前支店（普）1772623

三井住友銀行 上野支店（普）7469252

〔口座名義：一般社団法人 日本エネルギー学会〕

※なお、参加費は欠席・解約の場合返却できませんので、予めご了承下さい。

また、参加証は発行致しませんのでご了承下さい。

第13回微粒化セミナー プログラム (案)

(2017/12/1 (金) 全国家電会館・1F 会議室)

時 間	題目・講師
9:30～9:40	開会の挨拶 群馬大学大学院・天谷賢児
9:40～10:40	【解説】液体微粒化の基礎 京都大学大学院・林 潤
10:50～11:50	【解説】微粒化の測定法と評価法 群馬大学大学院・座間淑夫
Lunch	
13:00～15:00	【機器展示と実習】 噴霧計測装置の体験実習と機器展示 (干渉画像法 (ILIDS), 位相ドップラ法 (PDI), レーザ回折法 (LDSA) 高速度ビデオ撮影を予定) (予定企業) 日本カノマックス(株), 西華デジタルイメージ(株), マイクロトラック・ベル(株), (株)フォトロン
Break	
15:10～15:50	【解説・実演】噴霧ノズルの説明と噴霧実演 (株)いけうち・鷺塚 泰典
Break	
16:00～17:00	【トピック】液滴燃焼の基礎とISS「きぼう」での宇宙燃焼実験 山口大学大学院 三上 真人
17:00～17:10	閉会式
17:10～18:30	技術懇談会